

令和7年度熊本県立翔陽高等学校教育目標

全ての教育活動において、「くまもと新時代教育大綱」、「第4期熊本県教育振興基本計画」をはじめ、教育庁各課の「取組の方向」を踏まえ、「スクールミッション」、「スクールポリシー」の具現化を図る。

《本校の教育目標》

「未来のくまもとを支える地域人材の育成」

《重点目標》

- 1 総合学科の多様な教育内容とキャリア教育を通して、職業観・勤労観（キャリアプランニング能力）とともに様々な課題に対応する力（課題対応能力）を高め、多様な文化や価値観を理解し（多文化理解）、広い視野を持って行動できる生徒を育成する。
- 2 生徒が主体となる活動を通して、自己を理解する力（自己理解）と自己をマネジメントする力（自己管理能力）を高め、自己に自信と誇り（自己効力感）を持てる生徒を育成する。
- 3 生徒同士が力を合わせて学び合う活動を通して、物事を多面的に見る力（豊かな感性）を高め、自他の個性を尊重するとともに自他を大切にする生徒を育成する。

《行動指針（教育スローガン）》

自ら気づき、考え、行動する

《教育目標達成のための2つの重点》

【進路目標の実現】

- 実社会で働き生活していく生きる力、未知の状況にも対応できる力、学んだことを人生や社会に生かそうとする力などを身に付けるために、「主体的・対話的で深い学び」を実践する。
- 総合学科の特色を生かした「キャリア教育」を充実させ、「チーム翔陽」として進路指導に取り組み、生徒の進路希望を実現する。

【人間力の向上、自己管理力の育成】

- 将来、社会を構成する自立した一人の人間として、総合的な力（人間力）を持ち、力強く生きていくことのできる生徒を育てる。
- 「自ら気づき、考え、行動する」という教育スローガンのもと、全ての教育活動を通して生徒の主体性や自主自律の心を育成し、自己を管理できる生徒を育てる。
- 互いの違いを認め、互いを尊重するなどの「人権感覚」を養い、心豊かな「グローバル人材」として活躍できる生徒を育成する。

《教育目標達成のための具体的取組の視点》

【授業づくり】

- 分かる授業の推進（協働的な学び）
- 一人一台タブレット等のICT機器の活用
- 専門的な知識・技能を生かした探究活動の充実
- 教科等横断的な授業（カリキュラム・マネジメントの実践）

【キャリア教育】

- 職業研究プロジェクト、インターンシップデュアルシステムの充実
- 地域との連携（クリエイト・ハイスクール）
- 進路指導の充実（「チーム翔陽」の実践）
- 国際的な交流体験活動

【生徒指導】

- 自己管理・自己決定を促す指導の充実
- 基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚
- 互いに認め、尊重し合う人権意識・態度の育成
- いじめをしない人間関係の形成

【教育支援】

- 通級指導体制の確立
- 特別支援教育の推進と生徒支援体制の確立
- 関係機関等との連携による不登校・中途退学者等の改善

【各種活動】

- ボランティア活動の充実
- 生徒会活動の活性化
- 部活動の活性化（人としての成長）
- 保護者との連携強化（育友会活動の充実）

【その他】

- 防災教育の充実
- 朝読書の充実と徹底
- 5S活動の実践と環境美化
- 校内の環境整備と省エネの推進
- 学校ホームページ等の広報活動の充実
- マスコミ等を使った積極的なPR
- 保護者・地域への積極的な情報提供